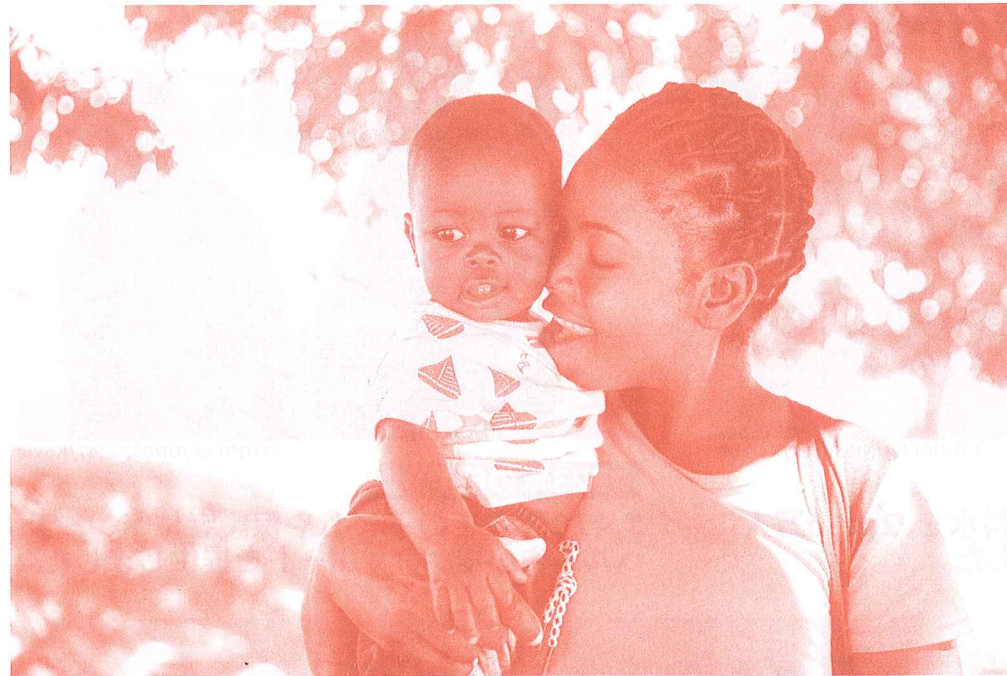


ユニセフお年玉募金にご協力ください

～わたしのお年玉を世界の子どもたちのために～



コープしがは、世界中の子どもたちが十分なケアを受け、よりよい人生のスタートがきれるよう、ユニセフ募金に通年で取り組んでいます。この時期、世界の子どもたちへのお年玉として「ユニセフお年玉募金」を呼びかけています。2023年度のお年玉募金総額は243万5,200円でした。ご協力ありがとうございました。



生後6カ月の子どもを抱える母親(チャド) ©UNICEF/UN0841737/Dejongh

ユニセフ(国連児童基金)とは

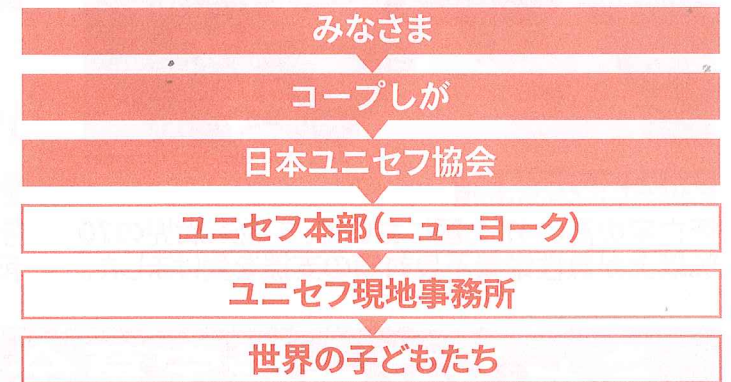
ユニセフは、世界の子どもたちの命と権利を守る主要な機関として、約190の国と地域で活動を行っています。今回お預かりするお年玉募金はユニセフの定めた優先順位に応じて、世界各地のユニセフの活動に活用される「一般募金」とミャンマーの栄養支援プログラムに活用される「指定募金」となります。

2023年度の生協による募金額

	全国の生協による募金※	コープしがによる募金
一般募金	182,353,697 円	783,868 円
指定募金	88,786,960 円	1,820,000 円
緊急募金	967,799,557 円	3,730,047 円
合計	1,238,940,214 円	6,333,915 円

※2023年4月1日～2024年3月31日までの日本ユニセフ協会入金分を集計

ユニセフ募金の流れ



募金でできる支援例



3円

子どもたちの免疫力を高め、感染症にかかりにくくする
ビタミンAカプセル1錠



59円

重度の栄養不良からの回復に役立つ
栄養治療食1袋



貯水容器



234円

10リットルの水を貯水・運搬できる
折り畳み式の貯水容器1つ



2,240円

熱に弱いワクチンを一定の温度に
保って運べるワクチン用保冷库1個



ワクチン用保冷库

募金のお申し込み方法(受付期間1月3回～2月1回)

共同購入・個配の方

- 1月3回～2月1回注文分の、注文書(OCR)、インターネット、電話注文、FAX注文で受付
- 1口は100円です。
- 注文書(おもて)/上段の「募金」欄に募金いただく口数を記入。
- インターネット注文/「注文番号で注文」を選び、注文番号 **209937** と募金口数(1口=100円)を入力。
- ◎ インターネット画面では点数のみの表示で受付

□ ポイント募金 **209996** を6ケタ注文番号欄に記入し、100ポイント単位で**1**と記入下さい。

- 電話注文/「募金を●口」とお伝え下さい。(電話注文センター:0120-190-502)
- FAX注文/ファクシミリ専用注文書の募金欄に募金口数を記入。
- ◎ 翌週の商品お届け明細に募金額が掲載されますので、ご確認下さい。

注文書記入例(5口500円の場合)

増資額 1口(千円)	出資金 現在高	ユニセフ 募金	ポイント還元 1ポイント単位でご記入ください
万 千 円	円	5 千 百 円	千 百 十 円

注文書記入例(500ポイント募金の場合)

号	注文数	注文番号	注文数
:	:	209996	5
:	:	:	:



©UNICEF Myanmar
ミャンマーの子どもたち

店舗の方 「受付期間」1月4日～1月26日

□ 店舗では、サービスカウンターの募金箱の「ユニセフ一般募金」にてお預かりしています。

みなさまからお預かりした募金は(公財)日本ユニセフ協会へ送金いたします。

◆お問い合わせ コープしが組織広報部 ☎0120-668-825

※コープしがのユニセフお年玉募金は寄付金控除の対象となりません。寄付金控除等を考えておられる場合は、直接(公財)日本ユニセフ協会へ募金をお願いします。

※2024年1月時点の価格です ※輸送や配布のための費用は含まれていません

一般募金による支援活動例

保健・栄養

すべての子どもが乳幼児期に十分なケアを受け、守られ、より良い人生のスタートを切ることができるよう、予防接種の普及、母乳育児の推進、栄養改善など総合的な支援を行っています。世界では1億4,800万人の5歳未満児が発育阻害に陥っているといわれています。



© UNICEF/UN0679917/Gabreez

2023年の成果例

死亡率の高い47カ国において、5歳未満児の70%以上が急性栄養不良対策の支援を受けました。

教育

男の子も女の子も平等に学ぶ機会を得、質の高い教育を受けられるよう、学習資材の提供、学校施設の設備、教育へのトレーニングなどを支援しています。学校に通っていない子どもと若者は2億5,000万人にのぼります。



© UNICEF/UN0545702/Ergen

2023年の成果例

学校に通っていない子ども3,770万人以上が就学前教育、初等、中等教育プログラムに参加しました。

水と衛生

より多くの子どもたちに清潔な水を届けられるよう井戸などの給水設備を作ったり、衛生的な生活が送れるようトイレを設置したり、石けんを使った正しい手洗いなどの衛生習慣を広めるといった活動をすすめています。世界では約20億人が、石けんと水を備えた基本的な手洗い設備のない家で暮らしています。



© UNICEF/UNI630751/Rotzoll

2023年の成果例

3,590万人に安全な飲料水を、2,150万人に清潔なトイレを提供しました。

子どもの保護

特に厳しい状況にある子どもの保護と、すべての子どもが家族や社会で、また法的にも守られる環境づくりを支援しています。COVID-19の世界的流行によって、メンタルヘルス、家庭内暴力、家族のケアを受けられない子どもといった子どもの保護に関する問題が明らかになりました。



© UNICEF/UN0322347/Kokic

2023年の成果例

3,470万人をの子どもや保護者にメンタルヘルスや心理ケアサポートを提供しました。

ミャンマー指定募金による支援活動例

※2023年度(9年目)の募金は2024年7月~2025年6月に現地で活用されています。

「ミャンマーの女性と子どものための栄養支援プログラム」

ミャンマーでは、慢性的な栄養不良に苦しむ子どもの割合が高く、母親である女性たちの乳幼児に対する食習慣についても知識が十分に行き届いていません。また、2021年2月の政治的危機以降は、経済が混乱し、食料価格は上がっており、残念ながら子どもたちの栄養状態は悪化していると考えられます。このプログラムでは、ミャンマーの栄養状況が良くない地域にいる子どもたちのために、地域の保健ボランティア等への栄養指導の研修や微量栄養素の配布などを引き続き実施します。

<具体的な活動例>

1. 質の高い栄養指導を行う医療従事者・保健ボランティアの育成
2. 微量栄養素を乳幼児に配布
3. 栄養不良児への栄養治療食の提供
4. 栄養改善に向けた意識・行動変容のための広報活動



© UNICEF/UN0697906/Oo

<2015~2022年度の募金(第1~8期)の活動・成果例(2016年7月~2024年6月)>

- 8,010人の医療従事者や保健ボランティア等へ“乳幼児の栄養改善”についての研修を実施
- 約62,000人の子どもに微量栄養素パウダーを提供
- 栄養治療食などで栄養不良に苦しむ子ども2,614人を治療
- 乳幼児の栄養改善カウンセリングを約73,000人のお母さんへ

※2021年2月以降の政治的混乱後もユニセフは活動を継続していますが、政治的に中立の立場で、国内外のNGOや地域の保健団体等とのパートナーシップを通じて支援活動を行っています。

ミャンマーの女性と子どものストーリー

エーヤワディー管区で活躍する地域保健ボランティアたち

ミャンマーの農村部では、栄養不良が社会問題となっており、国民に栄養改善の知識や実践が不足していること、新型コロナウイルスや現在の政治危機の影響による食料価格の高騰、質の高い医療サービスを受けられないことが、事態をより悪くしています。

ユニセフ・ミャンマー事務所では、2021年2月の政治危機以降も、保健ボランティアの代表に対して乳幼児の栄養改善についての実践的な研修を提供しています。研修を受けた保健ボランティアたちが妊娠中・育児中の女性に対してカウンセリングを行っています。



©UNICEF Myanmar
ナウ・マリーちゃんと母親のナウ・ジュエさん
(エーヤワディー管区)



© UNICEF Myanmar

栄養指導をする地域保健ボランティアの
ジャイン・ソン・チョウさん

エーヤワディー管区カン・コネ村に住むナウ・マリーちゃん(3歳)は経済的に余裕のない6人家族で、お父さんは1日平均2.5ドル(約350円)を稼ぎ家族を養っています。ナウ・マリーちゃんは十分な食事がとれず、日に日に衰弱し、痩せ細ってしまいました。

ユニセフとパートナー団体による研修を受けた地域保健ボランティアのジャイン・ソン・チョウさんが、定期的な健康診断でナウ・マリーちゃんが栄養不良であることに気づき、栄養治療と栄養指導を開始。

42日後にナウ・マリーちゃんは栄養不良から回復。母親のナウ・ジュエさんは適切な食事方法を学ぶことができ、感謝しています。